

第4章 公害苦情

1 概要

平成27年度の公害苦情受付件数は280件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が119件と最も多く、次いで悪臭、水質汚濁、大気汚染、振動、土壌汚染の順となっています。(図4-1-1、図4-1-2)

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課や各区役所のまちづくり推進課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。今年度の各区役所のまちづくり推進課が対応した公害苦情は、78件でした。

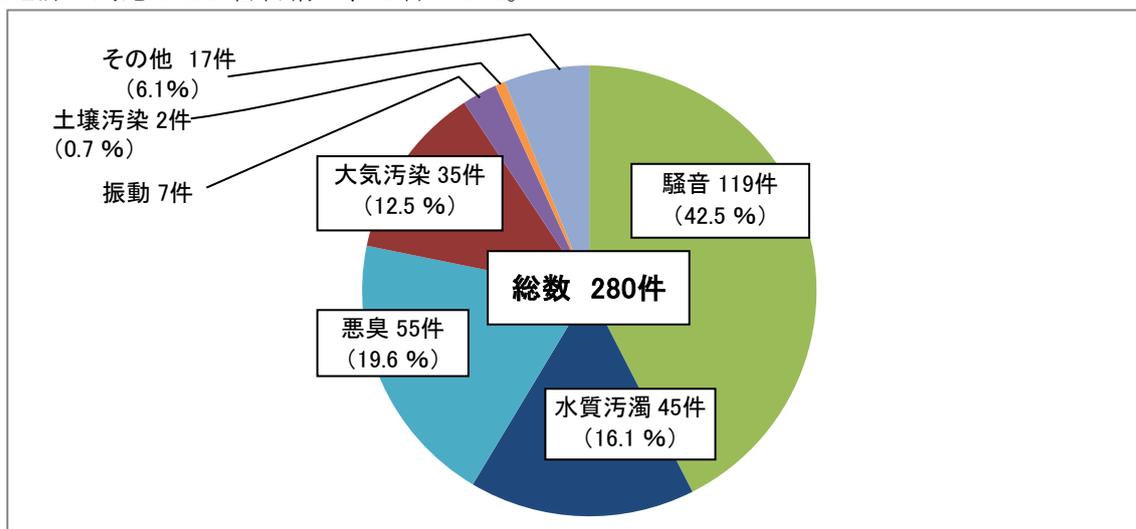


図 4-1-1 公害苦情の内訳

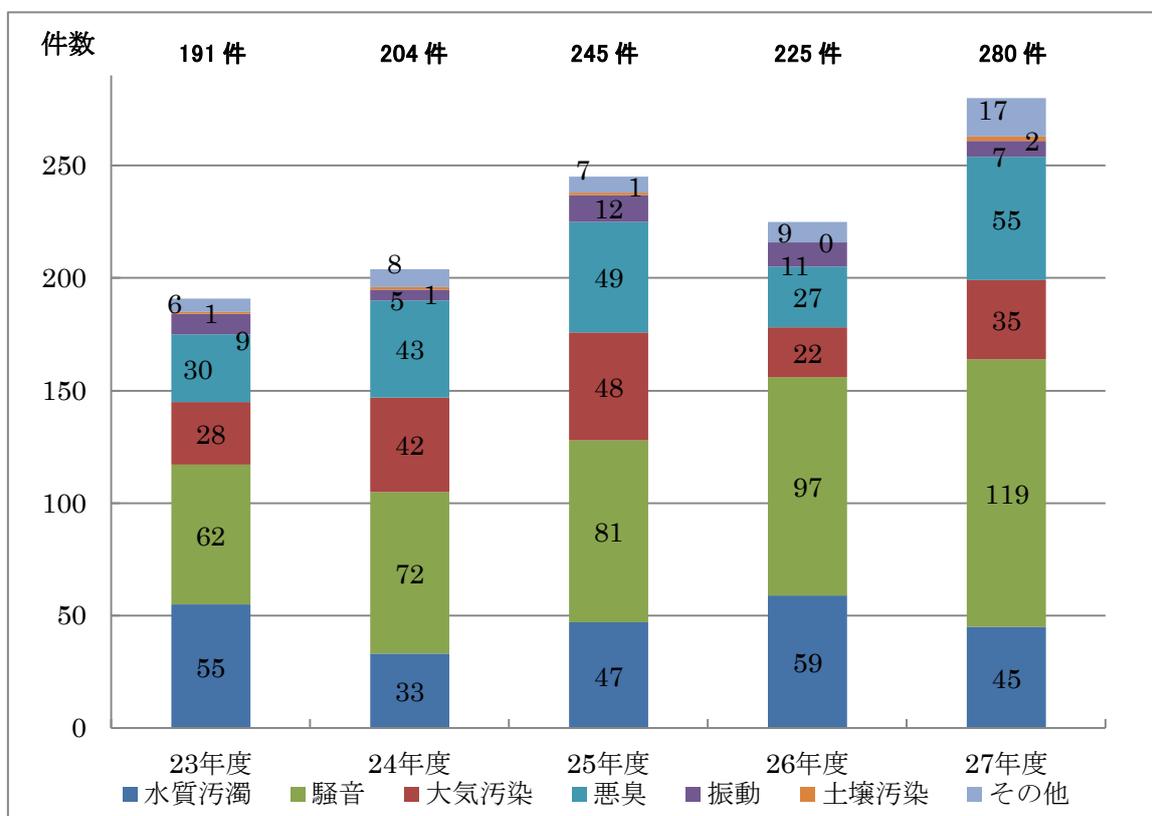


図 4-1-2 公害苦情件数の推移

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は35件で、苦情全体に占める割合の約12.5%でした。

発生源の主な原因は、事業所からの排ガス・粉じんによるものが8件と最も多く、次いで建設・解体作業に伴う粉じんによるものが5件でした。また、廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所のまちづくり推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は119件で、苦情全体に占める割合は約42.5%でした。

発生源の主な原因は、工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が45件と最も多く、次いで建設作業に伴う騒音が40件、自動車走行などの移動発生源からの騒音やカラオケ騒音が6件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は7件で、苦情全体に占める割合は約2.5%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が3件、自動車走行などの移動発生源からの振動が2件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は55件で、苦情全体に占める割合の約19.6%でした。

発生源の主な原因は、製造業、飲食店等の事業活動に伴う臭いが18件、畜産・農作業などの農業に伴う臭いが3件、となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、卸売・小売業・飲食店、サービス業、製造業、運輸・通信業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が約32.1%と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や騒音、悪臭、大気汚染の発生源が特定できないケースが多いためです。(表4-1-1)

表4-1-1 公害苦情の発生源業種

業種	公害の種類							合計	
	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	件数	構成比(%)
農業	1	0	0	0	3	0	0	4	1.4%
林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
漁業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
建設業	0	9	49	3	0	0	2	63	22.5%
製造業	10	3	9	0	3	0	0	25	8.9%
電気、ガス、熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
運輸・通信業	0	0	4	2	0	0	0	6	2.1%
不動産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
卸売り・小売業・飲食店	9	1	13	0	6	0	2	31	11.1%
サービス業	2	2	16	0	8	0	0	28	10.0%
医療・福祉	1	0	1	0	0	0	2	4	1.4%
学習支援・公務	0	0	0	0	2	0	0	2	0.7%
家庭生活	3	1	5	0	8	1	1	19	6.8%
その他	0	0	7	0	0	1	0	8	2.9%
不明	19	19	15	2	25	0	10	90	32.1%
計	45	35	119	7	55	2	17	280	100.0%